

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿
【全圏域】					
A	県民に対し、心血管疾患の前兆、症状、発症時の対処法等に関する継続的な啓発				
B	ライフステージに応じて健やかで心豊かに生活できるよう、生活習慣の改善や社会環境の質の向上を通じた社会全体での健康づくりに努めるとともに、心血管疾患の予防及び早期発見に資する特定健康診査及び特定保健指導の必要性を周知し、県民の健診受診を促進	①	心血管疾患の予防（生活習慣改善の普及啓発・環境整備）		
		指標	心肺機能停止傷病者のうち一般市民により除細動が実施された件数		
B	ライフステージに応じて健やかで心豊かに生活できるよう、生活習慣の改善や社会環境の質の向上を通じた社会全体での健康づくりに努めるとともに、心血管疾患の予防及び早期発見に資する特定健康診査及び特定保健指導の必要性を周知し、県民の健診受診を促進	②	特定健診・特定保健指導を受けることができる	1	予防により心疾患の発症が減少している
		指標	特定健康診査受診率の向上		
		指標	特定保健指導実施率（終了率）の向上		
C	県メディカルコントロール協議会と連携し、救急医療における心血管疾患の検証や医療機関と救急隊員との連携強化を促進	③	患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される	2	心疾患による死亡が減少している
			専門的な治療を受けることができる	指標	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対） ●
D	新興感染症の発生・まん延時における心血管疾患患者の搬送体制を構築	指標	心肺機能停止傷病者のうち一般市民により除細動が実施された件数	指標	心血管疾患の退院患者の平均在院日数 ●
		指標	PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の冠動脈再開通達成割合	指標	心血管疾患による救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間 ●
				指標	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合 ●
E	急性期医療においては、限られた医療資源を有効に活用しつつ、デジタル技術の活用等による施設間ネットワークを構築	④	心血管疾患が疑われる者の初期治療に必要な検査及び処置、専門的な診療について24時間対応可能な体制を維持		
F	急性期、回復期、維持期の各期に応じて医療サービスや介護サービスが切れ目なく適切に受けられるよう、在宅医療の体制整備や治療と仕事の両立支援など、関係機関の相互連携を強化	指標	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数	再掲	
		指標	PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の冠動脈再開通達成割合	再掲	
F	急性期、回復期、維持期の各期に応じて医療サービスや介護サービスが切れ目なく適切に受けられるよう、在宅医療の体制整備や治療と仕事の両立支援など、関係機関の相互連携を強化	⑤	合併症や再発の予防、在宅復帰のためのリハビリテーション提供体制の充実		
G	疾患管理プログラムとして、リハビリテーションを急性期の入院中から開始し、回復期から維持期・生活期にかけても継続する体制を強化	指標	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数	●	
		指標	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数	●	

※●は国の重点指標